

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 美術 】

書名 項目	美術 (開隆堂出版)	
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	○発達の段階に応じて系統的に題材が示され、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい、自分と他者や社会とのかかわり合いを考えさせることで、美術を愛好する心情を育てる工夫をしている。 ○多様な作品例から生徒が自ら発想・構想し表現できる題材を採り上げている。また、原寸大の作品写真を取り入れたり、見開きにしたり、鑑賞のきっかけになる問いかけのマークを付けたりするなど鑑賞にかかわるページを通して、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う工夫をしている。	
特色	内 容	<基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○小学校で学んだことを踏まえながら、各題材で基礎的な技法や知識に関する内容を掲載するとともに、巻末に「パレットコーナー」「工具箱」「色彩ホームページ」を設けて、用具や材料の扱い方、色彩に関する基礎的・基本的な能力を身に付けさせる工夫をしている。 <思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○生徒の思考を広げる問いかけの言葉や作品の制作過程、作者の言葉等を掲載するなど、表現を支える情報を示すことで、発想や構想、表現、鑑賞を行う際の思考力、判断力、表現力等を育成する工夫をしている。 <主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○各題材の中で「学習のねらい」と「学習のふりかえり」を分かりやすく示している。また、制作過程を示す写真等や活動のヒントを囲み記事に掲載することで、生徒が見通しを持って主体的に学習に取り組む態度を養う工夫をしている。 <対象を見つめ感じ取る力や想像力を高める工夫> ○多様な表現方法や様々な素材を使った生徒作品を中心に題材を配列し、発想・構想のヒントとなる考え方や作者の言葉、発展的な内容、題材の関連情報等を示すことで、一人一人の生徒が目的や意図を考えながら、自ら主題を見つけるようにし、創造的な活動を引き出す工夫をしている。 <創意工夫し美しく表現する技能を高める工夫> ○多様な生徒作品のアイデアスケッチや制作過程を効果的に掲載して、表現の手順や方法を示すとともに、各題材のページに加えて、巻末のページで基礎的な事項や安全な道具の使い方を具体的に紹介し、自分の意図に応じた表現方法を見つけさせる工夫をしている。 <よさや美しさなどを味わわせる工夫> ○鑑賞や言語活動のきっかけとなる言葉かけを示したり、作品のよさを味わう視点を示したりすることで、生徒間の意見交換や主体的な鑑賞を引き出そうとしている。また、平面・立体を問わず幅広いジャンルの作品を採り上げるとともに、「原寸大ギャラリー」や絵巻物のページを設けるなど、鑑賞の幅を広げる工夫がある。
	資 料	○生徒作品や作家作品には作者の言葉が添えられ、作者の思いが伝わり生徒の発想や構想のヒントとなっている。発想を促すためのヒントや題材の中で使われる技法、制作過程を写真や言葉で示している。 ○レイアウトが題材に応じて工夫され、美しさや楽しさが生徒に伝わり意欲を高めるようになっている。また、題材ごとに必要な技法を示すとともに、巻末に色彩理論や表現技法、年表、鑑賞などの資料をまとめて掲載している。
	表 記・ 表 現	○題材名は、生徒の心に響き、内容が豊かにイメージできるよう工夫されている。また、題材名の下に「学習のねらい」を掲載するとともに、「学習のふりかえり」を観点別に示している。 ○問いかけや作者の言葉が簡潔に表現され、生徒の意欲を高めるようにしている。また、基礎的な技法や習得させたい知識、題材に関する知識や情報などを囲み記事で示すとともに、題材に関連した資料のページを参照できるようにしている。
総 括	○1年生用の「美術1」、2,3年生用の「美術2・3」の2冊の中で、生徒の感性や様々な能力の発達の段階に応じた系統的な題材を採り上げ、レイアウトを工夫しながら紙面を構成している。また、表現と鑑賞のページを明確に区分せず、実際の授業の中で、生徒が表現と鑑賞の能力を関連させて働かせられるように工夫している。生徒の内面に重点を置きながら、「学習のねらい」や掲載作品の作者の言葉、活動過程を示すとともに、「学習のふりかえり」を掲載し、観点別の自己評価ができるようにしている。以上の点及び内容等の特色から、生徒の発達段階に合わせた主体的な学びを支える授業を展開し、一人一人の生徒が創造活動の喜びを味わいながら、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばしたり美術文化への理解を深めたりするために、ふさわしい教科書であるといえる。	

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 美術 】

書名		美術 (光村図書)
項目		
教育基本法、学校教育法の下での学習指導要領における教科の目標とのかかわり		<ul style="list-style-type: none">○生徒の成長や発達段階に応じた表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい、日常生活や社会・歴史とのかかわり等まで視野を広げて、美術を愛好する心情を育てる工夫をしている。○日常で目にする美術の事例や実際に飾ったり使ったりする例を扱った題材を採り上げているほか、原寸大の作品写真を取り入れたり、見開きページを設けたり、実生活に生かすためのマークをつけたりするなど、鑑賞にかかわるページを通して、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う工夫をしている。
特色	特 内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○題材の中で基礎的な技法や知識に関する箇所、巻末の「学習を支える資料」へのリンクをマークで示し、技法や用具の扱い方、鑑賞を深める資料等を掲載することで、基礎的・基本的な能力を身に付けさせる工夫をしている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○生徒や作家の発想方法を写真や具体例で掲載するとともに、作品づくりの過程を追う「みんなの工夫」を示すことで、制作の手順を考えたり表現方法を選択したりするなど、生徒の思考力、判断力、表現力等を育成する工夫をしている。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○学習のイメージがつかめる目標を明記するとともに、生徒の発達の段階に合わせ、生徒の活動を促す問いかけを掲載することで、一人一人が学習活動を広げ主体的に取り組む態度を養う工夫をしている。 <p><対象を見つめ感じ取る力や想像力を高める工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○生徒一人一人が自分なりの主題を見出し、表現を追求する手助けとなるように、多様な表現を採り上げている。また、「みんなの工夫」や「発想や構想のヒント」を設けることで、目的や意図を考えて発想や構想の能力を働かせる創造的な活動を引き出す工夫をしている。 <p><創意工夫し美しく表現する技能を高める工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○各題材で作者の思考や制作の過程を示したり、巻末の「学習を支える資料」のページで技法や道具の使い方を確認できるようにしたりすることで、生徒が自己の表現意図に合わせて表現方法を工夫して、表現活動に取り組めるようにしている。 <p><よさや美しさなどを味わわせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○平面や立体を問わず、多様なジャンルの作品を幅広く採り上げ、作者の言葉を掲載するとともに、主体的な鑑賞活動を促す問いかけを吹き出しで示しており、生徒の興味・関心や意欲を引き出す工夫がされている。また、巻末には年代別「トピックス美術史」を掲載している。
	資 料	<ul style="list-style-type: none">○題材ごとに、生徒の発想、構想、表現の工夫を促すために、制作過程の写真や作者の言葉を掲載している。豊かな表情や多様な活動の様子を写真で掲載することで、生徒の関心を高め、主体的な活動を促そうとしている。○「原寸大で鑑賞しよう」のページをはじめ、掲載写真が大きく、作品の細部まで鮮明に見ることができ、幅広い鑑賞活動を促すようになっている。巻末には、表現技法や用具に関する「学習を支える資料」「トピックス美術史」「美術史年表」等を掲載している。
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none">○各題材で観点別の「目標」の下に、[共通事項]を意識できる問いかけが明示されており、参考になる巻末の「学習を支える資料」との関連を示す表示もある。○識別しやすい形や色を使った10種類のマークを効果的に配置することで、学習の過程を理解したり、学習を深めたりする助けとなっている。道徳と関連する内容は、青いハートマークで示している。
総 括	<ul style="list-style-type: none">○1年生用の「美術1」、2,3年生用の「美術2・3」の2冊の中で、生徒の発達の段階を踏まえながら、3年間を見通した紙面構成となっている。題材を「表現」と「鑑賞」に分けながら、関連する詩や日常生活で目にする機会のある美術文化の図版などを取り入れることで、生徒の学習を広げたり深めたりしようとする工夫がある。巻末資料でも技法や材料紹介の中に、社会や伝統、自然とのかかわりを示す図版を掲載している。また、生徒の表現及び鑑賞の活動を促す10種類のマークも工夫されている。以上の点及び内容等の特色から、生徒の発達段階に合わせた主体的な学びを支える授業を展開し、一人一人の生徒が創造活動の喜びを味わいながら、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばしたり美術文化への理解を深めたりするために、ふさわしい教科書であるといえる。	

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 美術 】

書名 項目	美術 (日本文教出版)
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	○小学校からの学びの連続性を重視しながら、人、自然や環境、生活等とかわる題材を採り上げることで、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育てる工夫をしている。 ○原寸大の作品写真を取り入れるだけでなく、見開きページを工夫したり、作品に応じて紙質を変えたり、参照マークをつけて表現とのかかわりを示したりしながら、鑑賞にかかわるページを通して、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う工夫をしている。
特 色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○題材ごとに基礎的な技法や知識に関する資料、アイデアスケッチ、活動の過程が分かる図版や作品解説を示すとともに、巻末に表現や鑑賞、技法、色彩の資料等を掲載することにより、基礎的・基本的な能力を身に付けさせる工夫をしている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○発想・構想から表現までの学習の過程を分かりやすく示すとともに、掲載作品をつくり出した生徒や作家の作品に対する言葉を掲載したり、発想を広げる問いかけの言葉を多く用いたりしながら、生徒一人一人の思考力、判断力、表現力等を育成する工夫をしている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○題材の目標を「学びのねらい」として明記するとともに、学習を進める手立てとなる内容を「POINT」マークを用いて具体的に示すことで、見通しを持って主体的に学習に取り組む態度を養うための工夫をしている。</p> <p><対象を見つめ感じ取る力や想像力を高める工夫> ○「POINT」マークの内容や多様な表現方法による作品の作者の言葉、アイデアスケッチ、活動の様子を撮影した写真などをきっかけに、生徒が自分の制作目的や意図を考えて発想や構想の能力を働かせて、主題を見つけられるようにするなど、創造的な活動を引き出す工夫をしている。</p> <p><創意工夫し美しく表現する技能を高める工夫> ○題材ごとに表現の過程を具体的に示したり、巻末の色彩や技法、用具についての資料を確認できるようにしたりすることで、生徒が自己の表現意図に応じて表現方法を工夫しながら表現活動に取り組めるようにしている。</p> <p><よさや美しさなどを味わわせる工夫> ○平面や立体を問わず幅広いジャンルの作品を作者の言葉に合わせて掲載している。また、様々な鑑賞の仕方を示す『鑑賞との出会い』のページを設け、主体的で楽しい鑑賞活動を促そうとしている。作品を原寸大で掲載したり、日本に関わる掲載作品では紙質を変えて折り込みページで採り上げたりするなどの工夫がある。</p>
色	○どの題材でも図版が豊富であり、生徒のアイデアスケッチやメモ、作者の言葉、活動の様子を撮影した写真などを示すことで、発想から表現に至る過程を分かりやすく掲載している。 ○「教科書美術館」では見開きの4ページ全面を使った作品写真や原寸大の作品写真を掲載するとともに、巻末に、学習に役立つ資料として材料や用具の扱い方、年表や世界文化遺産等を掲載することで、生徒の興味・関心を高めようとしている。
色	○題材名の下に副題を示すとともに、学びのねらいを観点別に明示している。また、学習の手立てとなる内容を「POINT」マークでも示すことで、生徒が目的と見通しを持って学習に取り組めるように工夫されている。 ○他教科と関連する事項や生活と美術のかかわり、作家の活動等学習を深める内容が採り上げられている。また、使用されているマークが明確で、参照のマークでは題材に関連した資料を示し、道徳に関連する内容は三つ葉のマークで示している。
総 括	○1年生用の「美術1」、2,3年生用の「美術2・3上」「美術2・3下」の3冊の中で、生徒の発達の段階に応じた多様な学びが選択できる紙面構成となっている。「絵画・彫刻」「デザイン・工芸」の分野ごとに、「表現」と「鑑賞」のページを独立させながら、生徒が3年間の成長を実感できるよう、自分と他者・社会・自然とのつながりや広がりが見えるように構成している。また、見開きページを含めA4変型判を生かした鮮明で迫力ある写真が多く、学習を支えるマークもわかりやすく工夫されている。以上の点及び内容等の特色から、生徒の発達段階に合わせた主体的な学びを支える授業を展開し、一人一人の生徒が創造活動の喜びを味わいながら、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばしたり美術文化への理解を深めたりするために、ふさわしい教科書であるといえる。